民生委員児童委員への聞き取り

日時：令和７年９月16日(火)15:00～
場所：遠阪やまびこセンター

聞きたいこと：

1）人口が減る中で、神楽が持続するためにそれぞれができること
・人口を増やすのは無理なので、とりあえず健康で頑張る
・自分の健康の次に家族の健康も守る
・病気せず元気でいる事
・空き家の登録、生前の内にどうするか決めておく（村・自治会にも相談）
・空き家が増えていく中でどう環境を整えていくか、危険なところは持ち主に連絡する
・農地の整備が高齢化によりできなくなっている。年金生活者にとっては大変。
・神楽地区として幼児・小学生・中学生の集う機会があれば良い。子ども会のない地区があるため
・子どもが自由に遊べる場所
・高齢者と子供や若者が交流できる場所や事業
・子どもには小さなころからここに住むことを教えていく
・高齢者の交通手段の確保、買い物支援
・各地区で災害避難訓練を実際に想定して行う必要がある
・祭事の継続
・村の夏祭り、元旦マラソン継続
・誰もが参加できる事業運営。責任者は自治振興会や自治会。運営はやる気のある人たち
・すでに出ている人で地元に家が残っていて定年を迎えた人に帰ってもらう
・自然豊かである
・ゴミ・缶拾い

2）地域で変えた方がいいと思う取り組み、変わっていかないといけないこと
・山林関係、里山整備が必要
・日役が成立していかない、企業に依頼が必要
・鹿・イノシシの防除
・各役員の選出も男性女性の枠を払う個人の努力必要
・自治会長等の役員も女性が入って行く
・自治振興会への出役の削減。自治会長の負担を減らすため
・高齢者が増える中で手に合う自治会運営が必要になってくるのでは？見直すことも大事
・各自治会の夏祭りの一本化。ちょっと大きな花火大会等
・小さな部落でも地元の野菜等を使って出せるちょっとしたカフェが出来たらいいのではないか
・サロン等の集まりの会を継続していく
・百歳体操はそのままずっと続けていく
・農業の担い手がない。地区ごとではなく神楽として考えていく必要がある
・高齢化による農作業者不足
・地区内の活動にも移動手段が必要

・田舎特有の隠す・恥ずかしいをオープンにしてみんなでみんなを見ていく意識にしたい
・小稗は 4 組ある組をなくして 1 つの集落にする。住民全員で行事等守っていく

3）これからも守っていかないといけないこと
・棚田オーナー制度の継続
・つながりを持てる地域づくり
・いきいき百歳体操の継続
・各集落の祭り等、それぞれの伝統行事は、守っていくように努力すべき。伝統行事の意味を考える。
・祭りや子供会行事は残したい
・秋祭り等昔から続けていることは継続していく
・各自治会で行われる祭事などは小規模でも続けてほしい
・神楽の自然。山や川の手入れ
・美しい緑の多い環境は残すべき

4）地域活動に参加してよかったこと（いつ、内容）
・公民館活動で新しい企画があり若い方の力を感じた（スマホ活用等）
・地域活動（春のイベント）等参加したら楽しいのでご近所等誘い合って参加すると良い

5）神楽の良いところ、改善したいこと・要望
・学生が通る道の草刈り。自治会で請け負う、自治会でお金を出して草刈りしてもらう
・県道・市道の白線を引く
・道路整備をもっときれいにしてほしい
・負の財産が多すぎて息子に負担が大きいことが心配
・神楽の良いところは素朴で何もないところだけど集落ごとに集まるイベントをすると盛り上がるので続けていけたら。昔だと運動会など
・旧神楽小学校の跡地活用はとても地域活性化につながっていると思う
・自然豊か。しかしそれを整備する人材が少なくなってきている
・人が優しい
・きれいな山林

6）それぞれの地域での役割
・人のつながりを少しでも持ち一人だけという孤独感を持たないように手助けをする
・山の活用
・集う場所が少ない